2019 年 12 月 19 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

# 「未来創生２号ファンド」
# 自動運転シャトルサービス運営の株式会社 May Mobility への投資実行

―自動運転技術を通して、より安全で、環境に優しく、よりアクセスしやすい街づくりに貢献する―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、米国で自動運転シャトルサービスの運営を展開している、May Mobility Inc.（メイ モビリティ）（本社：米国、ミシガン州アナーバー、Founder&CEO：Edwin Olson, Co-Founder&COO：Alisyn Malek, Co-founder&CTO：Steve Vozar。以下、May Mobility と表記）への投資を実行しましたので、お知らせします。May Mobility は今回の調達資金を活用し、自動運転シャトルバスの車両及びシステムの改善、ならびにエンジニアリング、オペレーション、セールスの人員を増員し、更なる事業伸長を目指します。

■投資先企業の概要

May Mobility は Edwin Olson 氏率いる、米国ミシガン大学の自動運転開発チームを中心としたメンバーで 2017 年に設立されました。当社は決まったルートを走行する自動運転シャトルバスサービス(Transportation-as-a-Service)を展開、運用しており、このサービスを通して過密都市での渋滞解消、及び既存の公共交通機関がカバーしてない地域での First and Last Mile Mobility のプラットフォーマーを目指しています。現時点において、May Mobility はミシガン州デトロイトとグランド・ラピッズ、ロードアイランド州プロビデンスの 3 都市で自動運転シャトルバスを地方自治体、企業向けに運行しており、既に 170,000 回以上のライド実績があります。今後も引き続き、アクセシビリティーの高い社会を実現するべく技術革新を行っていく意向です。
本件プレスリリースの内容を含め、詳細については May Mobility のホームページ：https://maymobility.com/をご参照ください。

■「未来創生（１号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（１号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2019 年 11 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。
未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com